

亀山駅西自転車駐車場新築工事

T01	建築工事 特記仕様書（１）	06	屋根伏図・断面図
T02	建築工事 特記仕様書（２）	07	サイクルポート標準図
T03	建築工事 特記仕様書（３）	08	外構図 外構詳細図（１）
T04	電気設備工事 特記仕様書	09	外構詳細図（２）
01	計画概要・付近見取図	10	外構詳細図（３）
02	現況図 仮設計画図	11	【新設】電灯設備 平面図
03	配置図兼平面図	12	【新設】防犯カメラ平面図 【撤去】防犯カメラ平面図
04	求積図・求積表	13	【撤去】電灯設備平面図 【新設】給水設備平面図
05	平均地盤面算定図		

工 事 特 記 仕 様 書

Ⅰ 工事名		亀山 駅 西 自 転 車 駐 車 場 新 築 工 事	
Ⅱ 工事概要		1. 工事場所 三重県亀山市御幸町地内 2. 敷地面積 463.51m2 3. 工事内容	
		様名称 亀山駅西駐輪場 構造 鉄骨造 平屋建 建築面積 157.45 m ² 延床面積 157.45 m ² 工事項目 建築工事	
Ⅱ 建築工事仕様		1. 標準仕様 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築工事標準仕様書（建築工事項）（平成31年版）」（以下「標準仕様書」という。）による。 2. 特記仕様書の表記 (1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。 (2) 特記事項は、○、○印の付いたものを適用する。 ○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。特記事項に記載される内容が複数の事項については○印の付いたものを適用し、※印の付いたものは適用しない。 ○印と※印の付いた場合は、共に適用する。 使用材料等で、複数の材料に○印が付いたものは図面による。 (3) 特記事項に記載の（ ）内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。	
章	項 目	特 記 事 項	
1 一般共通事項	① 適用基準等	○建築工事標準詳細図（平成28年版） ○営繕工事写真撮影要領（平成31年版） ○デジタル工事写真の小黑板情報電子化について（平成29年3月1日付け官営第211号） ・建築物解体工事共通仕様書（平成31年版） ・ ・ ・ ○請負者は、受注時において工事請負代金額が、500万円の工事について、(財)日本建設情報総合センター（以下「JACIC」）が運営する工事実績情報サービス(CORINS)に、「CORINS入力システム」により当該工事に係るデータ登録を行わなければならない。データ登録は、受注時に工事実績情報として「工事カルテ」を作成し、監督員の確認を受けたうえ、契約締結後10日以内にJACICに対し登録申請を行い、JACICから「工事カルテ受領書」が請負者に届いた際には、その写しを直ちに監督員に提出しなければならない。 なお、工事請負代金額が2500万円以上の工事の場合は、受注時に加えて、変更及び完成時においても同様に「工事カルテ」を作成し、監督員の確認を受けたうえ、登録内容の変更時においては、変更契約締結後10日以内に、完成時においては、工事完成後10日以内にJACICに登録申請しなければならない。 なお、変更時と完成時の間が10日に満たない場合は、変更時の提出を省略できるものとする。ただし、期間には土曜日、日曜日、国民の祝日に関する法律に規定する国民の祝日等は含まない。 ○請負者は、下請負に付する場合は、別に定める三重県建設工事執行規則施工に関し、必要な書類に様式を定める要綱に従い、部分下請通知書（第9号様式）を監督員に提出しなければならない。 ○請負者は、工事を施工するために下請負契約を締結した場合には下請代金にかかわらず、施工体制台帳を作成し、工事現場に備えるとともに、その写しを監督員に提出しなければならない。 ○請負者は、各下請負者の施工の分担関係を表示した施工体系図を作成し、工事現場の見やすい場所と公衆の見やすい場所に掲げなければならない。 また、請負者は、施工体系図を別に定める様式により監督員に提出しなければならない。	
	② 工事実績情報の登録	(1.1.4) ○請負者は、受注時において工事請負代金額が、500万円の工事について、(財)日本建設情報総合センター（以下「JACIC」）が運営する工事実績情報サービス(CORINS)に、「CORINS入力システム」により当該工事に係るデータ登録を行わなければならない。データ登録は、受注時に工事実績情報として「工事カルテ」を作成し、監督員の確認を受けたうえ、契約締結後10日以内にJACICに対し登録申請を行い、JACICから「工事カルテ受領書」が請負者に届いた際には、その写しを直ちに監督員に提出しなければならない。 なお、工事請負代金額が2500万円以上の工事の場合は、受注時に加えて、変更及び完成時においても同様に「工事カルテ」を作成し、監督員の確認を受けたうえ、登録内容の変更時においては、変更契約締結後10日以内に、完成時においては、工事完成後10日以内にJACICに登録申請しなければならない。 なお、変更時と完成時の間が10日に満たない場合は、変更時の提出を省略できるものとする。ただし、期間には土曜日、日曜日、国民の祝日に関する法律に規定する国民の祝日等は含まない。 ○請負者は、下請負に付する場合は、別に定める三重県建設工事執行規則施工に関し、必要な書類に様式を定める要綱に従い、部分下請通知書（第9号様式）を監督員に提出しなければならない。 ○請負者は、工事を施工するために下請負契約を締結した場合には下請代金にかかわらず、施工体制台帳を作成し、工事現場に備えるとともに、その写しを監督員に提出しなければならない。 ○請負者は、各下請負者の施工の分担関係を表示した施工体系図を作成し、工事現場の見やすい場所と公衆の見やすい場所に掲げなければならない。 また、請負者は、施工体系図を別に定める様式により監督員に提出しなければならない。	
3 電気保安技術者		(1.3.3) ※適用する	
④ 発生材の処理等		(1.3.11) ○引渡しを要するもの（既存防犯カメラ機器一式） ・特別管理産業廃棄物 ※有() 処理方法() ○現場において再利用を図るもの(防犯灯、ポール) ○再生資材の利用を図るもの ・アスファルトコンクリート塊 ○セメントコンクリート ・建設発生木材 ・引渡しを要するもの、再生資源の利用を図るものについては調査作成し、監督員へ提出すること。 ○引渡しを要しないもの、再生資源化を図るもの以外のものは、全て工事現場外に搬出し、建設リサイクル法、資源有効利用促進法、廃棄物処理法その他関係法令に基づくほか、「建設副産物適正処理推進要綱」に従い適切に処理し、監督員に報告すること。 (マニフェスト A、B2、D票を提示し、E票は、写しを提出すること。)	
⑤ 環境への配慮		(1.4.1) 建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の1)から5)を満たすものとする。 1) 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセドアルデヒド及びスチレンを放散しない又は放散が極めて少ないものとする。 2) 保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。 3) 接着剤は、可塑性（フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑性剤を除く）が添加されていない材料を使用する。 4) 塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。 5) 1)、3)及び4)の材料を使用した作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。 また、設計図書に定める「ホルムアルデヒド放散量」は、次のとおりとする。	
⑥ 材料の品質等		(1.4.2) 本工事に使用する材料は、設計図書に定める所要の品質及び性能を有するものとし、JIS又はJASのマーク表示のない材料及びその製造者等は、次の(1)～(6)の事項を満たすものとする。 (1) 品質及び性能に関する試験データが整備されていること (2) 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること (3) 安定的な供給が可能であること (4) 法令等で定める許可、認可、認定、免許等を取得していること (5) 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること (6) 販売、保守等の営業体制が整えられていること なお、これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料又は外部機関（(社)公共建築協会等）が発行する「建築材料・設備機材等品質性能評価事業」の評価書等の写しを、監督職員に提出して承諾を受けるものとする。ただし、あらかじめ監督員の承諾を受けた場合は、この限りではない。 また、備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、監督職員の承諾を受ける。	
⑦ 建築材料等		品質が求められる水準以上であれば、県内生産品の優先使用に努めること。 また、建設工事で得られた再生資源の活用はもちろんのこと、他産業の廃棄物で得られた再生資源についても利用促進を図るものとし、「みえ・グリーン購入基本指針」に基づく「環境物品等の調達の推進に関する基本方針」に定める環境配慮を行うこと。（同指針に基づき、木材を使用する場合、原料として使用される原木は、県産間伐材、林地残材又は小径木等とするか、又はその伐採にあつて生産された国における森林に関する法令に照らして合法な木材とすること。） ※ 本工事に使用する木材は、原則として亀山市内の森林から産出された「地域材」を使用し、調達できない場合は県産材、国産材の順に利用するものとする。 なお、県産材については「三重の木」利用促進協議会が承認する「三重の木」を優先して使用する。	
⑧ 技能士		(1.5.2) ※ 職種別に可能なものについては積極的に活用すること。	
⑨ 工法の提案		(1.5.8) 設計図書に定められた工法以外で所要の品質及び性能の確保が可能な工法並びに環境の保全に有効な工法の提案がある場合は、監督職員と協議する。	
10 化学物質の濃度測定		(1.5.9) ※ 測定物質(○で示したものとする。)	
		適用施設用途ホルムアルデヒドトルエンキシレンエチルベンゼンスチレンパラジクロロベンゼン 学校、教育施設○ 住宅○ その他○	
		※ 測定箇所(※ 図示) ※ 測定方法(※ バッパシ法 ・ アクティブ法) ※ 試料は、内装工事完了から2週間以上の通風換気を行い、また、換気を行ながら空気調和を行う設備がある場合は、設備の試運転が終了してから採取することとし、困難な場合は監督員と協議すること。 ※ 報告書提出部数 2部	
11 技術検査		(1.6.2) 回数()、実施する段階() 標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法とする。 ※ 本工事では三重県リサイクル製品利用推進条例に基づき性能、品質、数量、価格等に考慮し、優先的に認定製品を使用すること。入手困難な場合は監督員と協議すること。	
⑫ 特別な材料の工法		標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法とする。	
⑬ リサイクル認定製品の利用		※ 本工事では三重県リサイクル製品利用推進条例に基づき性能、品質、数量、価格等に考慮し、優先的に認定製品を使用すること。入手困難な場合は監督員と協議すること。	
⑭ 施工中の安全管理		※ 接着剤及び塗料の塗布にあたっては、使用方法及び塗布料を十分に管理し、適切な乾燥時間をとるものとする。また、施工時、施工後の通風、換気を十分に行い、室内に放散した等を室外へ放出させること。	
⑮ 騒音・振動の防止		※ 低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規定に基づき指定された建設機械を使用する。	
⑯ 排出ガス対策建設機械の使用		※ 第3次排出ガス対策型建設機械指定要領に基づき指定された排出ガス対策型建設機械を使用する。	
⑰ 工事写真		※ 電子納品とし、次のものを提出する。 ※ CD 部数は「20 電子納品」を参照 ※ 全写真のサムネイルを印刷したもの (A4版用紙) 1部 ※ 代表的写真を抽出し、L版相当サイズ (A4版用紙に1ページあたり3枚) で印刷したもの 1部	
⑱ 完成図等		(1.7.1～3) (表1.7.1) ※ 作成する(※ 完成図 ・ 保全に関する資料) ※ 完成図作成範囲(配置図、平面図、立面図、断面図、仕上表等) なお、完成図の著作権(著作権法第27条及び第28条に規定する権利を含む)は発注者に移譲するものとする。 ○ CADによる作成、普通紙に出力したもの(※ 要 ・ 不要) ただし、作成できない場合は監督員との協議による。	
⑲ 完成写真		○ デジタルカメラで撮影し、全てL版相当サイズで印刷する。(A4版用紙に1ページあたり3枚) ※ アルバム 1部 (大きさ 335mm×290mm程度 カラー) ※ 箇所数は 外観5面程度とする。 規定の箇所数が確保できない場合には、監督員と協議すること。	
⑳ 電子納品		※ 工事写真は、「営繕工事に係る電子納品マニュアル (デジタル工事写真編)」等に基づき電子媒体も提出すること。 (提出部数 ※ 2部 ・ 部) ※ 工事完成図書は、「営繕工事に係る電子納品マニュアル (工事完成図書編)」に基づき電子媒体も提出すること。 (提出部数 ※ 2部 ・ 部)	
㉑ 設備工事との取合い		施工範囲 ※ 図示した鉄筋コンクリート部の貫通孔、開口部の補強 ※ 図示した壁、天井の仕上材、下地材の	

仕 様 書

工 事 名 称 亀山駅西自転車駐車場新築工事

1. 工事概要

1. 工事場所 亀山市御幸町地内

2. 建物概要

建 物 名 称	構造及び階数	敷 地 面 積	延 床 面 積	消 火 令 の 適 用	備 考
駐 輪 場	その他	463.51 m ²	157.45 m ²	令別表第1項 (15)	

3. 工事種目 (○印の付いたものが対象)

建 物 別 及 び 屋 外	工 事 種 別				
工 事 種 目					
・ 高圧引込設備					
・ 受変電設備					
・ 自家発電設備					
・ 動力設備					
・ 電灯設備	○				
・ 電話設備					
・ 拡声設備					
・ 情報・LAN設備	○				
・ ナスル設備					
・ テレビ 共同受信設備					
・ インター設備					
・ 呼出表示設備					
・ 火災報知設備					
・ 避雷針設備					
・ 電話機器設備					
・ 警備保障用配管設備					
・ CVC設備					
・ 中央監視制御設備					
・ 太陽光発電設備					
・ 構内配電線路	○				
・ 構内通信線路	○				

4. 指定部分 ○ 無 ・ 有
対象部分:

II. 特記仕様書

1. 特記仕様書の取り扱いについて

1) 項目番号に○印の付いたものを適用する。

2) 特記事項の印の適用は下記による。

○印の無い場合は、※ 印を適用する。

○印の有る場合は、○印を適用し、※ 印を適用しない。

2. 一 般 共 通 事 項

項目	項 目	設 備 概 要
一 般 共 通 事 項	①適用範囲	本特記仕様書は各共通仕様書、各標準仕様書及び補足事項に記載なき事項を特記するものであり各工事において、他工事との設関連事項は、各該当工事の記載事項を参照とする。図面及び特記仕様書に記載されない事項は、日本建築家協会編「建築設備工事共通仕様書」(最新版)による。
	②法 規	本工事は、電気設備基準、消防法、条例、指導等関連官公庁規定に従う。
	③疑 義	本工事の設計図に関する疑義は、工事契約前に質疑応答書をもつて確認するものとする。設計図に記載なくも、外観上、構造上、機能上、当然必要と思われるものは、監理者の指示に従い、請負金額の範囲において、施工するものとする。
	④優先順位	本工事の設計図書の優先順位は下記とする。 (1) 質疑応答書 (2) 現場説明書 (3) 特記仕様書 (4) 設計図 (5) 日本建築家協会編「電気設備共通仕様書」
	⑤設計変更	設計変更又は追加工事の生じた場合は、速やかに監理者の指示に従い、増減額見積書を提出する。
	⑥軽微なる変更	現場の納まり取り合い等の関係で、材料の寸法位置、取付寸法、取付員数の増減は、軽微なる変更とし監理者の指示に従う。
	⑦発生材の処理	(1) 引渡を要するもの ・ 無し ○ 有り (・ 金属類 ○ 既存防犯カメラ機器) (2) 特別管理産業廃棄物 ○ 無し ・ 有り (・ PCB使用機器 ・) (3) 再生資源化を図る物 ○ 無し ・ 有り (・ ・ ・) (4) 上記 (1) ～ (3) 以外の発生材の処分地 () (5) 照明器具安定器にPCBが使用されている場合は、安定器を本体より分離し金属箱に収納して建物管理者に引き渡す。
	⑧施工図	施工上、必要な図面は、全て施工者において遅滞なく作成し監理者の承諾を受ける。承諾を受けずに施工した場合は、やり直しを命ずることがある。
	⑨立会検査	基礎及び各階配筋完了時、工事中間検査、完了後に検査困難な箇所を施工する場合、製品検査、主要機器が設置される場合、工事完了検査(総合運転試験)、監理者が特に指示した場合監理者の検査を受け承諾を得なければならない。

一 般 共 通 事 項	⑩工事写真	工事写真は監理者の指示に従い、各工事の要点を撮影し、内容説明の上771Mにて提出する。竣工写真は監理者の指示する位置より、771Mに編集し提出する。
	⑪竣工図	竣工図は監理者の指示に従い、製本、縮小製本、第二原因を請負者において作成する。
	⑫官公署への手続	本工事に必要な一切の申請手続は請負者が遅滞なくおこなう。
	⑬災害及び公害の防止	工事の施工に伴う災害及び公害の防止は、建築基準法、労働安全衛生法、騒音規制法、振動規制法、大気汚染防止法、建築工事公衆災害防止対策要綱、建築副産物適正処理推進要綱、その他関係法令に従い処理すること。
	⑭臨機の処理	災害又は公害が発生した場合は、速やかに適切な処置をとり、直ちにその経過を監理者及び施主に報告をする。
	15 既存部分との取合	既存部分と今回工事との取り合い部分、その他ではつり及び工事の都合により破損、損傷させた箇所今回仕上げ及び旧工事仕上げと同材にて補修しなければならない。
	⑮提出書類	請負者は監理者の指示に従い工事提出書類を提出しなければならない。
	17 分離発注の場合	分離発注の場合の電気工事請負者は他の業者に対して協力を惜しまず、工程上の段取り、打合を行い現場内の全てに統制を計ることに努める。
	18 耐震施工	設備機器の固定は、次に示す事項を除きすべて「建築設備耐震設計・施工指針(日本建築学会)2014 年版」による。
電 灯 設 備	19 保温、結露防止	外部に面する壁、天井で建築工事で271M等打ち込み箇所に取り付ける位置が771Mなどは保温、結露防止処置を行う。
	⑯合成樹脂製可とう管	合成樹脂製可とう電線管(PF管)及び付属品は、771M -25 のものを使用する。なお、PF管は波付管の一重管とする。
	⑰電線本数、管路等	電力用位置が771M類は、原則として合成樹脂製とするがコングリット打ち込み部分は、金属製としてもよい。ただし、金属製とする場合は当該771Mには接地を施すものとする。
	22 インサート	分電盤、制御盤、端子盤などの2次側以降の配線経路、電線太さ、電線本数、管径などは監督員の承諾を受けて、変更してもさしつかえない。
	23 呼び線	鋼製とする。なお、床版で保温板打ち込み部分は、断熱材用インサート(亜鉛メッキ製品)を使用する。
	24 プレート	長さ1m以上の入線しない管路には、1.2mm以上のビニル被覆鉄線を挿入する。
	25 771Mプレート	・ 新金属 ・ ステンレス ・ 樹脂製
	26 はつり	水平調整付きプレート(空転防止リブ付き)
	⑱取り外し機器	既存のコングリット床、壁などの配管貫通部の穴明けは、図面に特記なき場合は原則としてダイヤンドカッターによる。
電 熱 設 備	⑲接地抵抗	工事着工前に、取り外し機器が接続されている分岐回路の絶縁抵抗を測定する。
	29 塗装工事	取り外し再使用機器は、清掃及び絶縁抵抗測定の上、取付ける。
	⑳地中配管の埋設深さ等	各接地の抵抗値は電気設備基準第18条に従い施工する。
		下記部位に使用する、外面めっき電線管の露出配管には塗装を施す。
		・ 屋外 ・ 居室
		地中配管で、特記なき埋設深さは0.6m以上とする。
	1 工事範囲	○配管 ○配線 ○機器類 ○盤類
	2 電気方式	分岐 ・ 単相3線式 100/200V ○ 単相2線式 (・ 100V ・ 200V) ・ 直流2線式 100V
	3 蛍光灯安定器	・ 省電力型 ・ 一般型 ○LED ・ 高力率 :40W以上 (・ 200V ・ 100V) ・ 低力率 :40W以上 (・ 200V ・ 100V)
動 力 設 備	4 HID型安定器	・ 一般形 ・ 定始動電流形 ・ 電圧 (・ 200V ・ 100V) ・ 低力率 ・ 高力率
	5 非常用照明装置	国土交通省住宅局建築指導課監修の「防災設備に関する指針」(最新版)による。
	6 非常用照明器具	・ 電池内蔵形 ・ 電池別置形 ・ 飛び出し形 ・ 外部固定形
	7 ハイポジションライト	・ 銅合金製 ・ 771M製
	8 予 備 配 管	埋込形分電盤からの立ち上がり予備配管は、予備の配線用遮断器4個以下の場合(25)を一本、5個以上の場合(25)を二本、天井までたちあげる。
	1 工事範囲	・ 配管 ・ 配線 ・ 制御盤類
	2 電気方式	幹線 ・ 3相3線式 200V 分岐 ・ 3相3線式 200V
	3 警報盤	壁掛形(電源装置 ・ 内蔵 ・ 別置)
	4 電磁開閉器用押釦(遠方操作用)	埋込連用形配線器具
電 熱 設 備	5 機器への接続	電動機などへの接地は本工事とする。
	6 電動機等の接地	図示以外は金属管接地とする。
	1 工事範囲	・ 配管 ・ 配線 ・ 機器類
	2 電気方式	幹線 : 線式 V 分岐 : 線式 V
	3 施工場所・面積	・ 約 ・ 約

章 項 目	特 記 事 項
1 工事範囲	・ 配管 ・ 配線 ・ 機器類
2 電気方式	高圧 ・ 3相3線式 6kV ・ 50HZ ・ 60HZ 低圧 ・ 3相3線式 200V 低圧 ・ 単相3線式 100/200V
3 配電盤	・ 屋外形 ・ 屋内形 ・ キュービクル式配電盤 ・ 高圧閉鎖配電盤 ・ ・ ・ 高圧交流遮断器(CB)
4 主遮断装置	・ 限流ヒューズ及び高圧負荷開閉器(PF-S) ・ 定格遮断電流 KA ・ 変圧器総容量 KVA
5 設備容量	・ 高圧 ・ 低圧
6 進相コンデンサ	・ 無効電力検出方式 ・ 力率検出方式
7 自動力率制御装置	
静止形電源設備	1 直流電源装置 ・ 非常用照明器具電源 受変電設備制御電源共用 ・ 受変電設備専用 2 交流無停電電源装置 ・ 用途 () ・ 容量 KVA
自家発電設備	1 工事範囲 ・ 機器類 ・ 2 形式 ・ 簡易形 ・ キュービクル式 ・ オープン形 3 発電機 ・ 電気方式 3相3線式 60HZ 電圧 200V 定格出力 66.0kVA ・ ディーゼル ・ ガスタービン 4 原動機 ・ 定格出力 PS以上 始動方式 ・ 電気式 ・ 空気式 5 燃料 種類 ・ 軽油 ・ 灯油 ・ A重油
避雷設備	1 工事範囲 ・ 受雷部 ・ 引き下げ導線 ・ 接地極埋設 2 受雷部 ・ 突針 ・ むね上導体 ・ 金属製手すり(別途)など 3 避雷導線 ・ 引下げ導線 ・ 建築構造体利用 4 接地極 ・ 接地極埋設 ・ 建築構造利用
電話配管設備	1 工事範囲 ・ 配管 ・ 配線 ・ 機器類 2 局 線 数 ・ 光ケーブル 000回線 ・ 光ケーブル 000回線 3 配 線 方 式 ・ 空配管 ・ 配管配線 ・ ケーブル配線 4 電 話 受 口 ・ ハンドプレート ・ ポリウレタン 5 引 込 方 法 ・ 架空 ・ 地中 ・ 構内地中
情報設備	1 工事範囲 ・ 配管 ・ 配線 ・ 機器類 2 方 式 ・ FTTH ・ イーサネット ・ VDSL 3 回 線 事 業 者 ・ NTT西日本 ・ コムカワ光 ・ その他 4 引 込 方 法 ・ 架空 ・ 地中 ・ 構内地中 5 そ の 他 引込及び加入費・光ケーブル等は、別途工事とする。 光ファイバケーブル対応インターネット方式とする。
テレビ共聴設備	1 工事範囲 ・ 配管 ・ 配線 ・ 機器類 2 アンテナ ・ UHF(・ 地上波デジタル) ・ BS ・ 110° CS ・ VHF 材質 ・ ステンレス ・ アルミ 3 アンテナ形式 ・ 自立型 ・ 側壁取付型 ・ ステンレス ・ 溶融亜鉛めっき 4 CATV 放送会社 ・ 5 そ の 他 加入金 ・ 別途 ・ 本工事 機器類は全て地上デジタル放送対応品とする。 同軸ケーブルは低損失タイプを使用する。
ＩＴＶ設備	1 工事範囲 ○配管 ○配線 ○機器類 2 機 器 ○本工事(・ カラー ・ 白黒) ・ 別途 3 伝 送 方 式 ・ 771M ○ネットワーク 4 その他
インターネットホン設備	1 工事範囲 ・ 配管 ・ 配線 ・ 機器類 2 用 途 ・ 種 別 ・ インターネット ・ ナスル ・ モデル呼出し装置

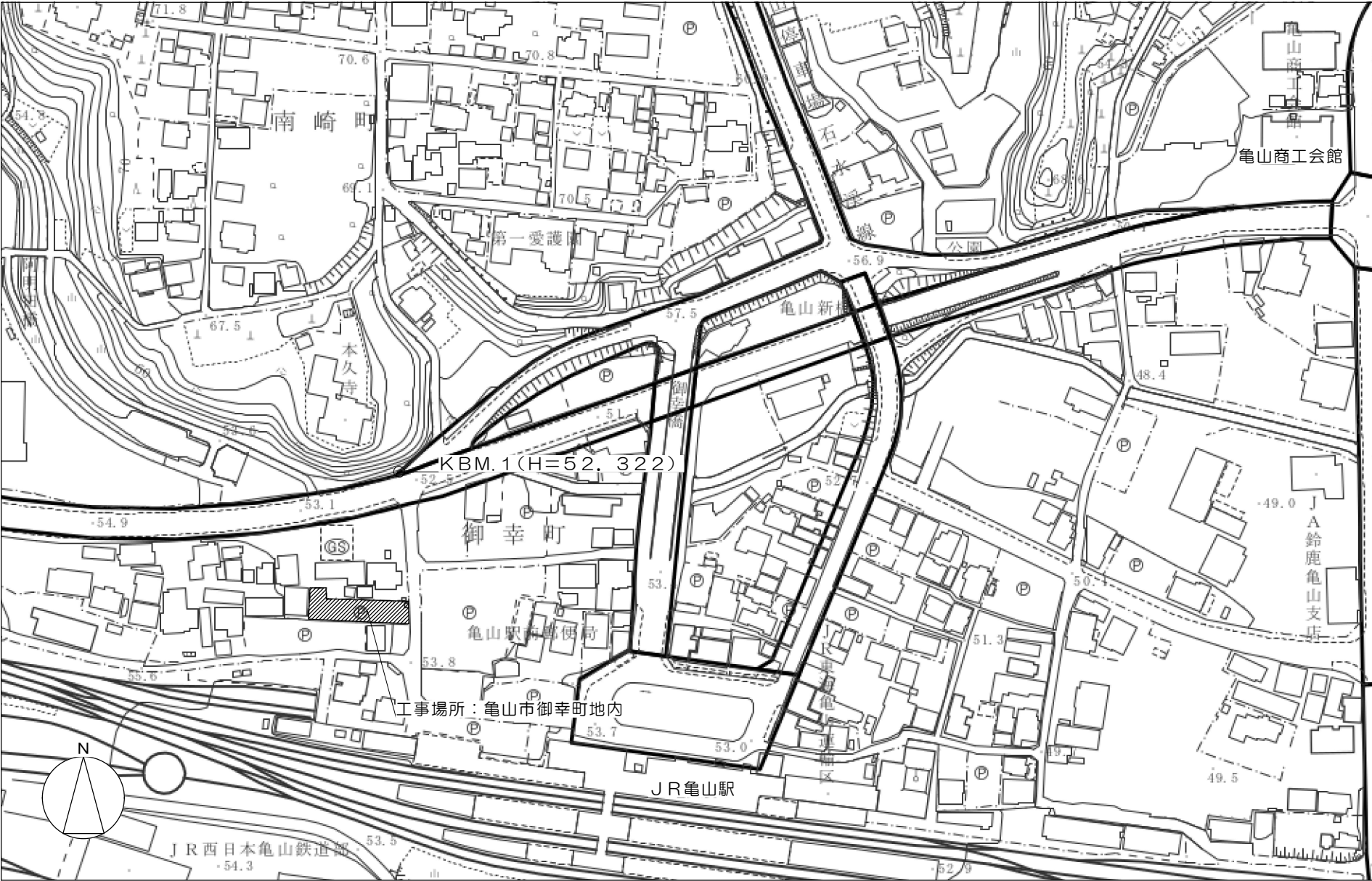
章 項 目	特 記 事 項
1 工事範囲	・ 配管 ・ 配線 ・ 機器類
2 自 火 報 設 備	総務省令40号 ・ 対応(・ 住戸用 ・ 共用用) ・ 非対応 ・ 特定小規模施設用
3 防 排 煙 設 備	受信機 ・ P型 ・ GP型 ・ R型 ・ GR型 閉鎖装置の種類 ・ 扉 ・ シャッター ・ ダンパー ・ 垂れ壁 ・ 排煙口 連動制御盤 ・ 自火報受信機複合盤 ・ 専用
4 非 常 警 報	・ 非常ベル ・ 放送設備
5 ガス漏れ警報器	・ 本工事(・ 都市ガス用 ・ LPG用) ・ ベースのみ ・ 別途
6 そ の 他	総務省令40号適用にかかる届出・手続き等は施工者にて遅滞無く行う。
1 工事範囲	・ 配管 ・ 配線 ・ 機器類
2 用 途	・ 業務用 ・ 非常用 ・ 業務非常兼用
3 771M 形 式	・ ラック型 ・ 壁掛型 ・ 卓上型(既設)
1 適用 J I S	・ JIS A 4201(2003) ・ JIS A 4201(1992)
2 受 雷 部	・ 突針(・ 側壁取付型 ・ 自立型) ・ 水平導体
3 引 下 げ 導 線	・ 構造体利用 ・ 避雷導線
4 そ の 他	避雷導体から1.5m以内の金属体は接地する。
1 工事範囲	・ 配管 ・ 配線 ・ 機器類
2 検 出 装 置	・ 赤外線式 ・ ループコイル式 ・ 超音波式
3 機 器	・ 本工事 ・ 別途
1 工事範囲	・ 配管 ・ 配線 ・ 機器類
2 用 途	・ ガスター ・ 水道用水
3 機 器	・ 本工事 ・ 別途

メーカーリスト (下記メーカー又は同等品以上とする。)					
電線・ケーブル	古河電気工業	住友電気工業	矢崎総業	西日本電線	フジクラ
分岐ケーブル	河村電線工業	矢崎総業	日立電線	昭和電線	三菱電線工業
電線管・付属品	パナソニック	丸一銅管	妙ノ電工		
合成樹脂管	積水化学工業	パナソニック	未来工業	古河電気工業	
ケーブルラック・レースウェイ	妙ノ電工	パナソニック	未来工業		
発 電 機	ヤマハ	三菱重工	西日本発電機		
キュービクル	内外電機	河村電器産業	日東工業		
盤 類	テンパール	内外電機	パナソニック	河村電器産業	日東工業
変 圧 器	ダイハチ	三菱電機	パナソニック		
コンデンサ	ニチコン	三菱電機	パナソニック		
開 閉 器 類	三菱電機	パナソニック	河村電器産業	日東工業	
配 線 器 具	神保電器	パナソニック	東芝ライテック		
照 明 器 具	パナソニック	東芝ライテック	大光電機	遠藤照明	
テレビ共聴機器	DXアンテナ	ハムアンテナ	パナソニック	マスタート電工	
放 送	TOA	パナソニック	JVC・ケンウッド		
防 災	ニチコン	パナソニック	ホーテ	能美防災	
ＩＴＶ機器	TOA	パナソニック			
インターホン	アイホン	パナソニック			
避 雷 針	大阪避雷針	名古屋避雷針	NIPエン지니어リング		

【計 画 概 要】

工事名称	亀山駅西自転車駐車場新築工事		
工事場所	亀山市御幸町地内		
地名地番	亀山市御幸町字牛喰 296-7		
防火地域等	法22条区域		
用途地域	準工業地域		
指定容積率	200%		
指定建蔽率	60%		
敷地面積	463.51 m ²		
前面道路幅員	8.694m		
接道長さ	9.424m		
主要用途	自転車駐車場		
構造・規模	鉄骨造		
耐火建築物	その他		
延床面積	157.45（容積率算定用面積112.43）m ²		
容積率	24.25%		
建築面積	157.45（建蔽率算定用面積140.53）m ²		
建蔽率	30.31%		
最高の高さ	【A棟】	2.270m	【B棟】 2.270m
軒の高さ		2.270m	2.270m
最高の高さ	【C棟】	2.275m	【D棟】 2.275m
軒の高さ		2.275m	2.275m

【付 近 見 取 図】



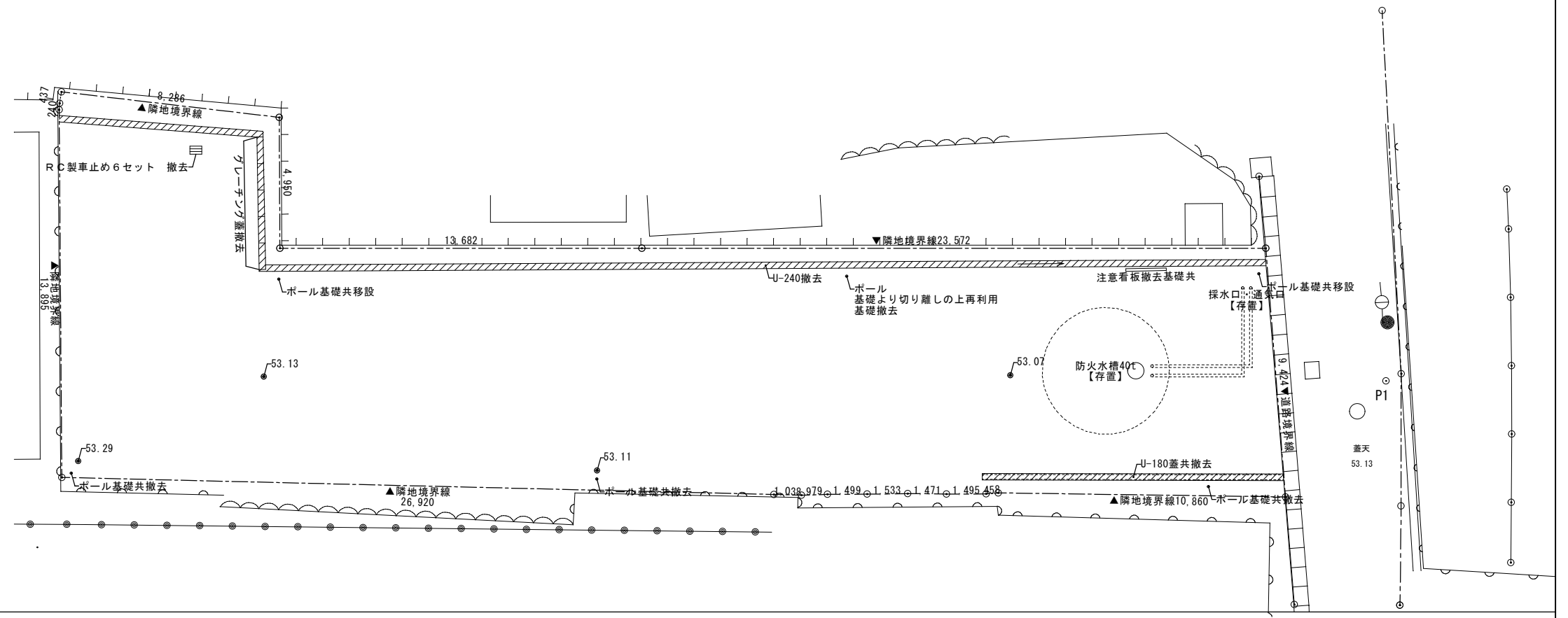
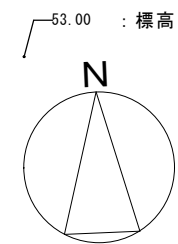
地形図（白地図）1／2500加工

備考	令和 4 年 4 月 1 日	SCALE : 1/2500	工事名称	図面名称
		亀山市建設部	亀山駅西自転車駐車場新築工事	計画概要・付近見取図
		都市整備課		
		亀山駅前整備G		

現況図

既存構造物撤去概要

1. 既存側溝 撤去
2. 既存看板 撤去
3. 既存ポール一部撤去、一部移設（基礎共）
基礎：φ500L600
基礎共撤去：3本
基礎のみ撤去：1本
基礎共移設：2本
4. 既存照明 一部取外し、一部撤去
LED防犯灯取外し：3台
街灯撤去：3台
5. 既存防犯カメラ装置 取外しの上引渡し

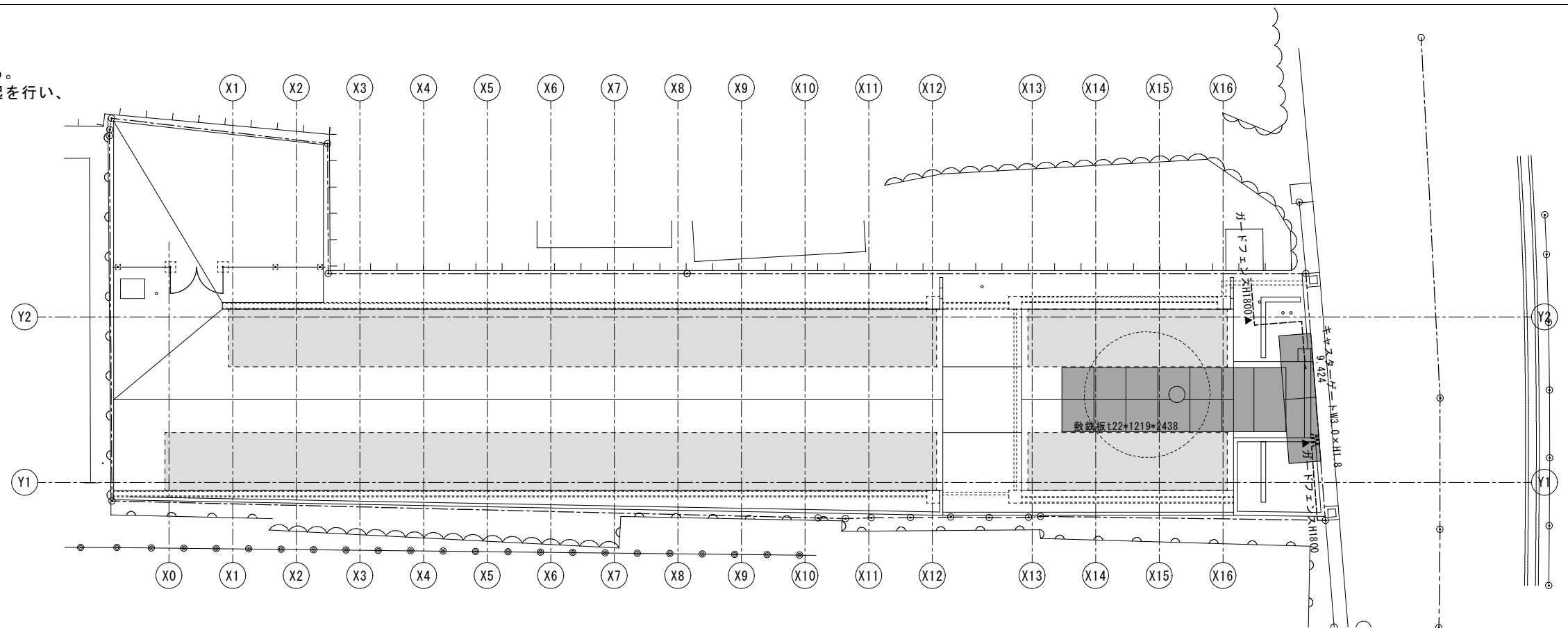
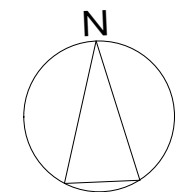


仮設計画図

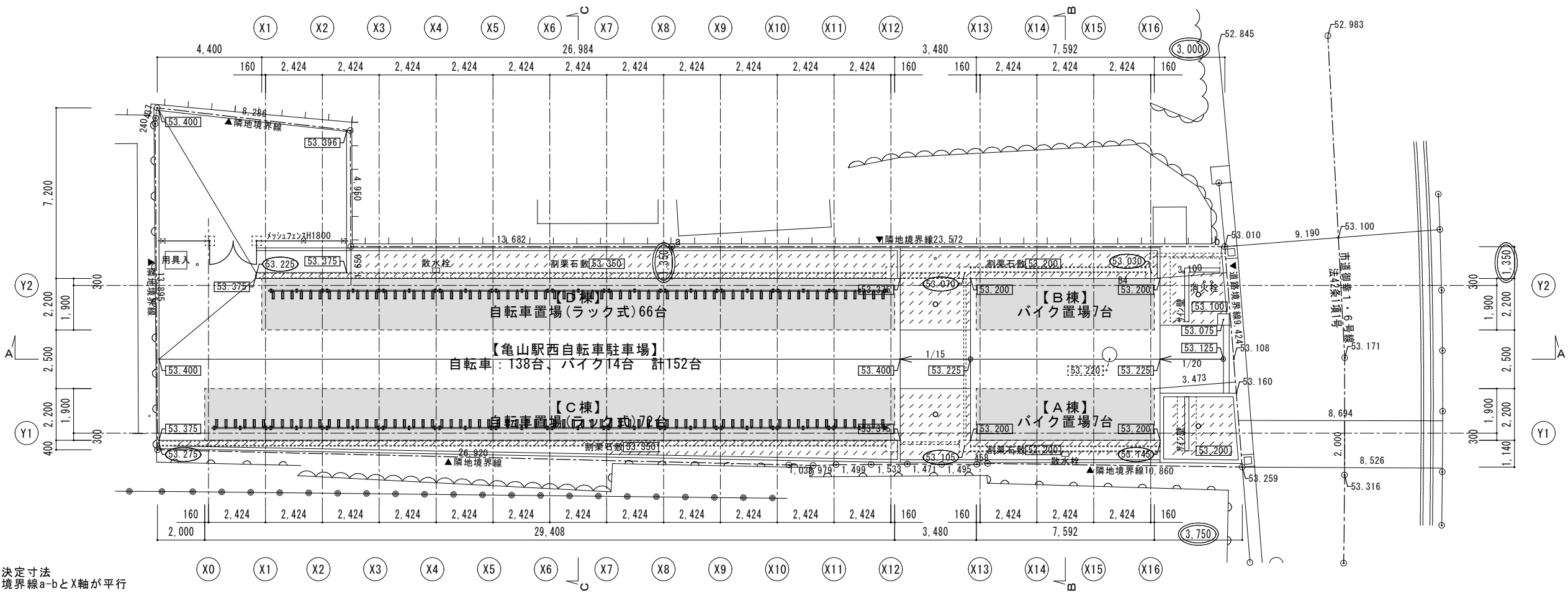
本仮設計画は、設計上の考えを示すものである。

敷地内には、防火水槽及び採水口・通気口が設置されている。
そのため、十分に養生を行うとともに、コーン等で注意喚起を行い、
工事による損傷のないよう留意すること。

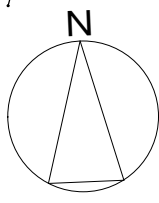
また、採水口については、工事期間中においても消火活動に支障が無いよう配慮すること。



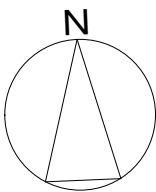
備考	令和 4 年 4 月 1 日			SCALE : 1/ 200	工事名称	図面名称	02
				亀 山 市 建 設 部	亀山駅西自転車駐車場新築工事	現況図	
				都 市 整 備 課		仮設計画図	
				亀 山 駅 前 整 備 G			



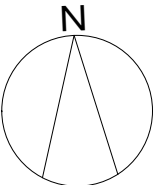
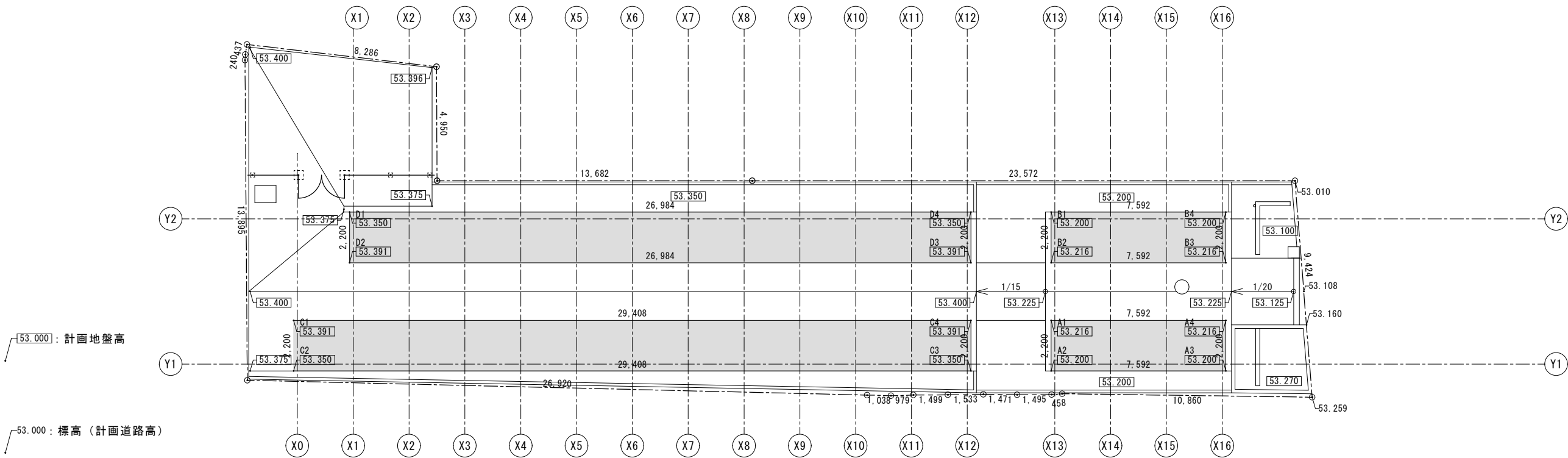
- 0.000 : 配置決定寸法
隣地境界線a-bとX軸が平行
- 53.00 : 計画地盤高
- 53.00 : 計画側溝・雨水枡天端高
- 53.00 : 標高



備考	令和 4 年 4 月 1 日			SCALE : 1/ 200	工事名称	図面名称	03
				亀山市建設部	亀山駅西自転車駐車場新築工事		
				都市整備課		配置図兼平面図	
				亀山駅前整備G			



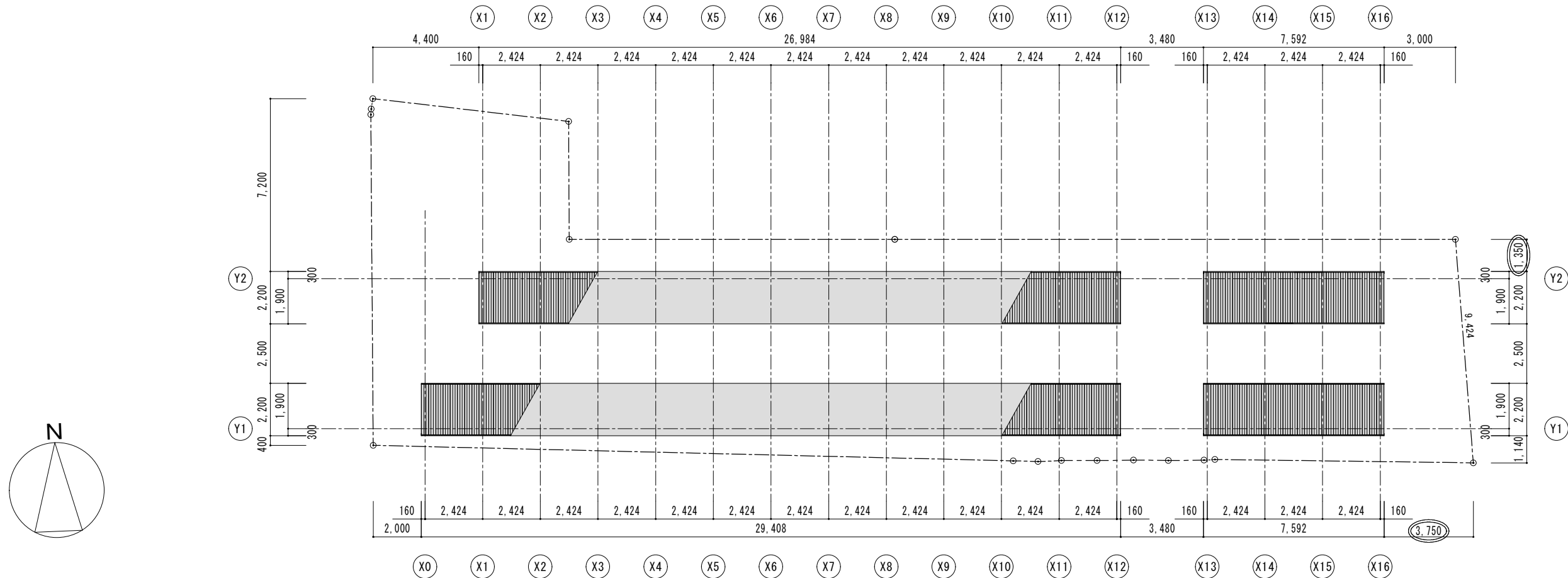
敷地求積表(敷地A)					敷地求積表(敷地B)					建築基準法に基づく建築面積・延床面積求積表					建築面積・延床面積求積表					
記号	計 算 式			倍 面 積	記号	計 算 式			倍 面 積	記号	計 算 式			倍 面 積	記号	計 算 式			面 積	
S1	11.953	×	6.015	71.897295	SA	9.646	×	4.261	41.1016064	A	7.592	×	2.200	16.702400	A	7.592	×	2.200	16.702400	
S2	26.920	×	8.854	238.349680	SB	9.646	×	4.515	43.551690	B	7.592	×	2.200	16.702400	B	7.592	×	2.200	16.702400	
S3	20.861	×	6.103	127.314683	SC	8.323	×	0.240	1.997520	C	29.408	×	1.900	55.875200	C	29.408	×	1.900	55.875200	
S4	11.107	×	0.859	9.540913	SD	8.315	×	0.435	3.617025	D	26.984	×	1.900	51.269600	C	29.408	×	0.300	8.822400	
S5	11.638	×	0.803	9.345314										C棟			64.692000			
S6	12.592	×	1.110	13.977120										D			26.984	×	1.900	51.269600
S7	23.572	×	9.287	218.913164	倍 面 積 合 計				90.267841					D			26.984	×	0.300	8.095200
S8	17.700	×	0.792	14.018400	倍 面 積 / 2・・・ii				45.133921							D棟			59.364800	
S9	16.406	×	0.845	13.863070																
S10	15.225	×	0.902	13.732950	敷 地 面 積 (i + ii)				463.51	建 築 面 積 ・延床面積			140.53	建 築 面 積 ・延床面積			157.45			
S11	14.062	×	0.279	3.923298																
S12	13.702	×	7.437	101.901774																
倍 面 積 合 計				836.777661																
倍 面 積 / 2・・・i				418.388330																
備考									令和 4 年 4 月 1 日			SCALE：1/200		工事名称 亀山駅西自転車駐車場新築工事			図面名称		O4	
												亀山市建設部								
												都市整備課								
												亀山駅前整備G								



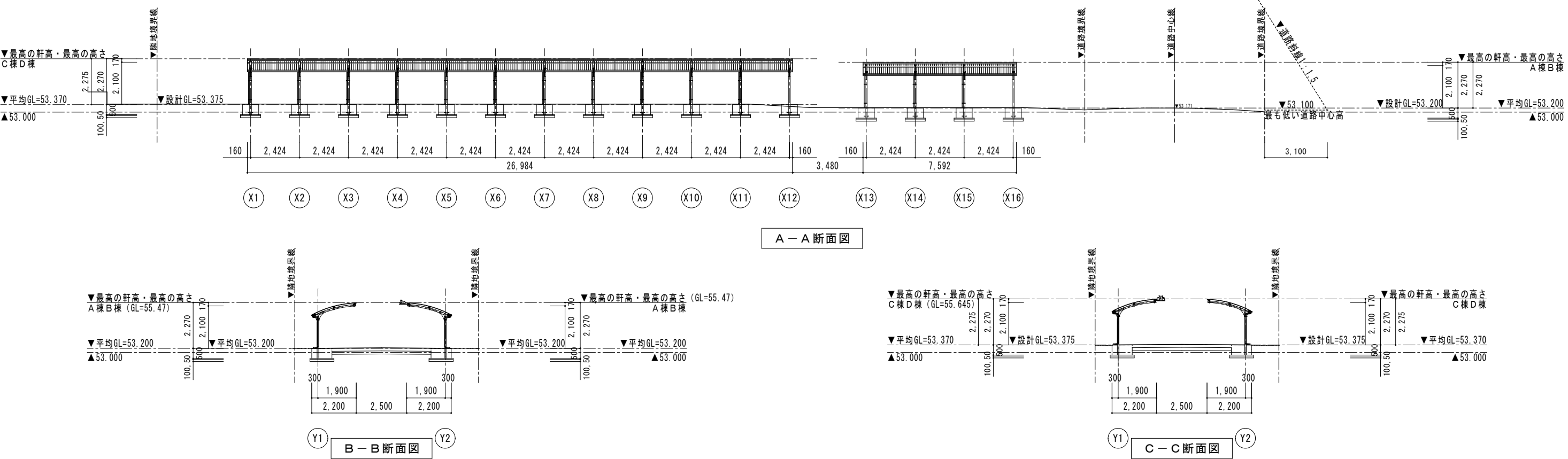
GL±0=53.000mとする。

A棟　バイク置場			B棟　バイク置場			C棟　自転車駐輪場			D棟　自転車駐輪場		
記号	計　算　式	面　積	記号	計　算　式	倍　面　積	記号	計　算　式	倍　面　積	記号	計　算　式	面　積
(A1) - (A2)	(0.216 + 0.200) / 2 × 2.200	0.457600	(B1) - (B2)	(0.200 + 0.216) / 2 × 2.200	0.457600	(C1) - (C2)	(0.391 + 0.350) / 2 × 2.200	0.815100	(D1) - (D2)	(0.350 + 0.391) / 2 × 2.200	0.815100
(A2) - (A3)	(0.200 + 0.200) / 2 × 7.592	1.518400	(B2) - (B3)	(0.216 + 0.216) / 2 × 7.592	1.639872	(C2) - (C3)	(0.350 + 0.350) / 2 × 29.408	10.292800	(D2) - (D3)	(0.391 + 0.391) / 2 × 26.984	10.550744
(A3) - (A4)	(0.200 + 0.216) / 2 × 2.200	0.457600	(B3) - (B4)	(0.216 + 0.200) / 2 × 2.200	0.457600	(C3) - (C4)	(0.350 + 0.391) / 2 × 2.200	0.815100	(D3) - (D4)	(0.391 + 0.350) / 2 × 2.200	0.815100
(A4) - (A1)	(0.216 + 0.216) / 2 × 7.592	1.639872	(B4) - (B1)	(0.200 + 0.200) / 2 × 7.592	1.518400	(C4) - (C1)	(0.391 + 0.391) / 2 × 29.408	11.498528	(D4) - (D1)	(0.350 + 0.350) / 2 × 26.984	9.444400
小計	19.584	4.073472	小計	19.584	4.073472	小計	63.216	23.421528	小計	58.368	21.625344
4.073472 / 19.584 =0.208 m→0.200mとする。			4.073472 / 19.584 =0.208 m→0.200mとする。			23.421528 / 63.216 =0.3705m→0.370mとする。			21.625344 / 58.368 =0.3705m→0.370mとする。		
∴平均 G L = 53.000m+0.200m = 53.200mとする。			∴平均 G L = 53.000m+0.200m = 53.200mとする。			∴平均 G L = 53.000m+0.370m = 53.370mとする。			∴平均 G L = 53.000m+0.370m = 53.370mとする。		

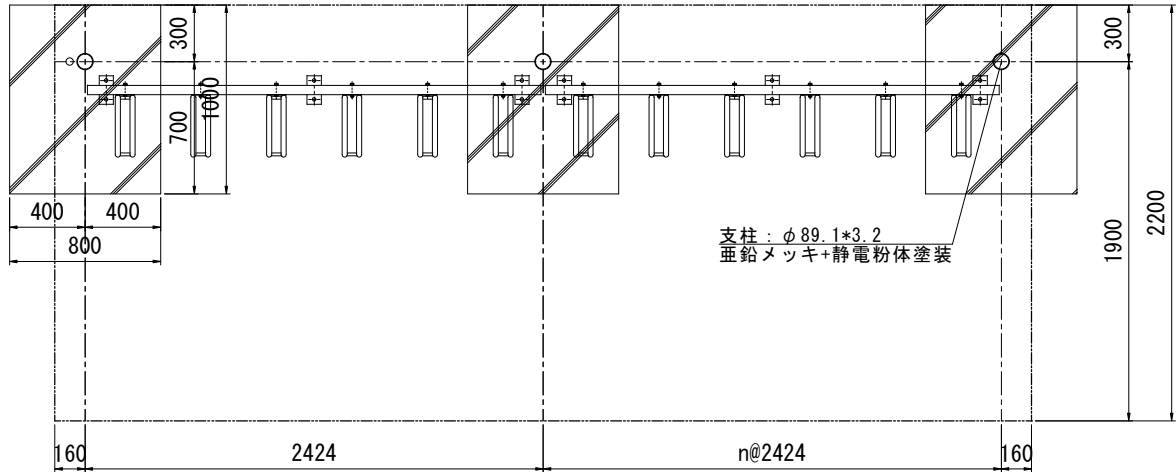
屋根伏図



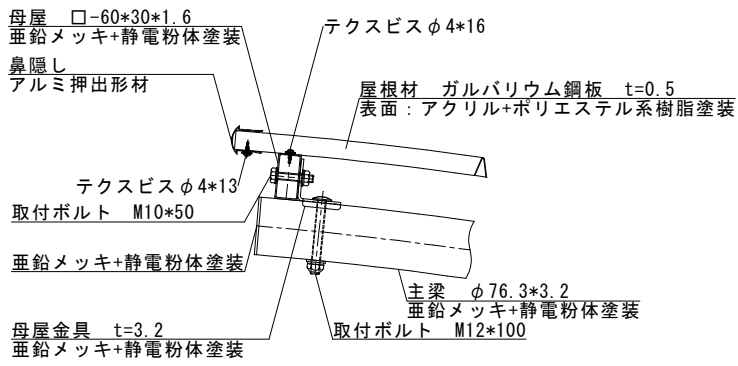
断面図



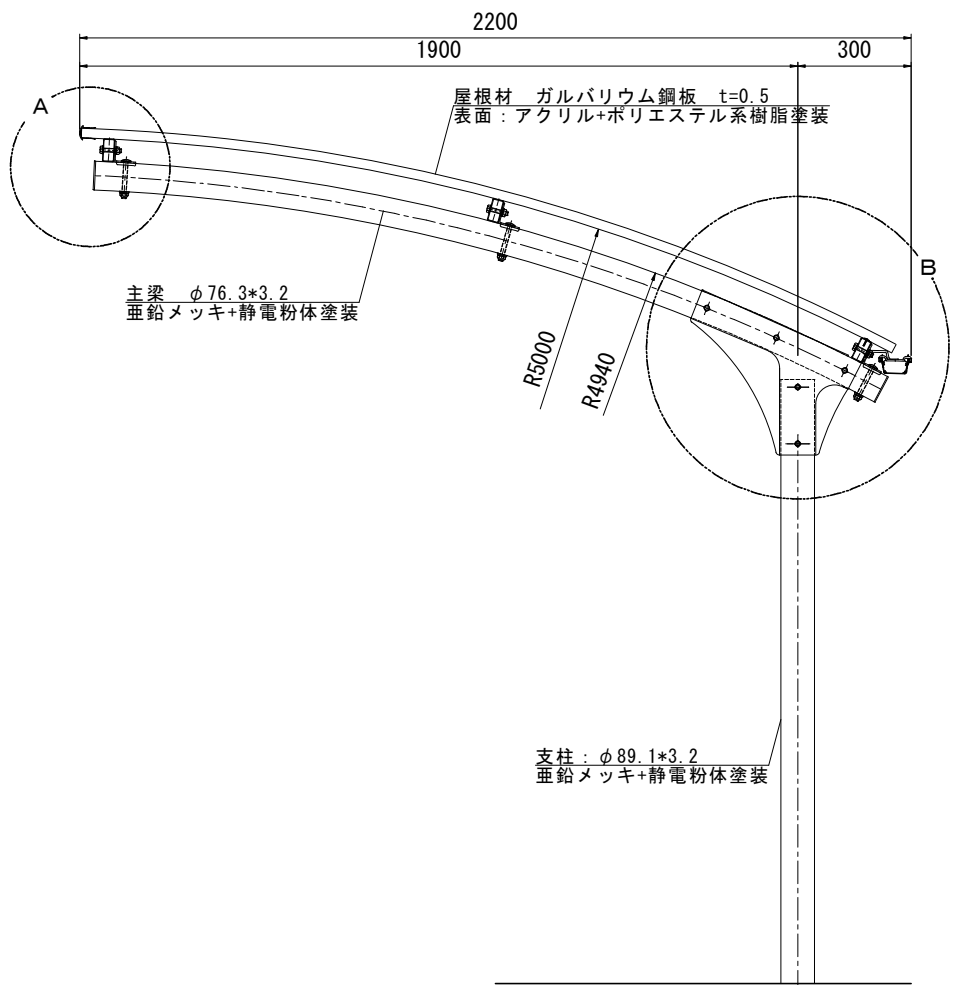
備考				令和 4 年 4 月 1 日	SCALE : 1/ 200	工事名称	図面名称	06
				亀 山 市 建 設 部	亀 山 駅 西 自 転 車 駐 車 場 新 築 工 事	屋根伏図		
				都 市 整 備 課		断面図		
				亀 山 駅 前 整 備 G				



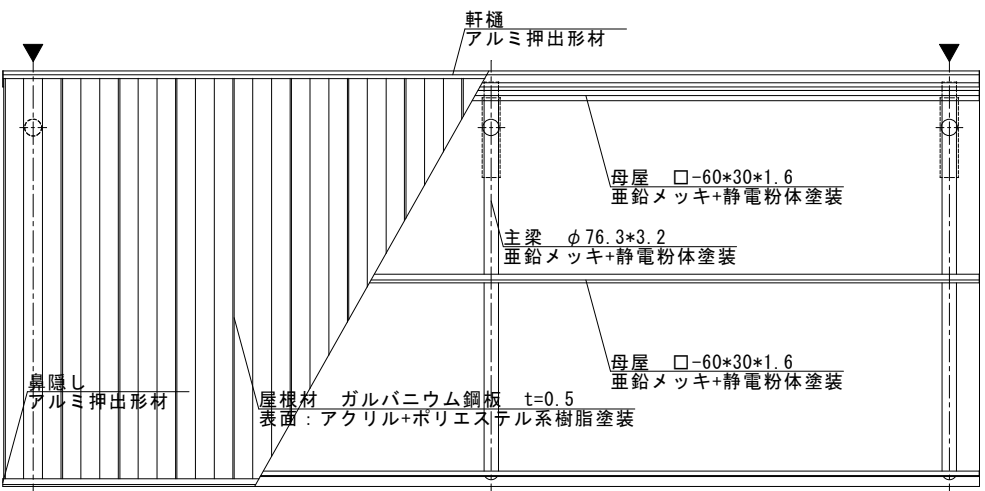
基礎伏図 S=1:40



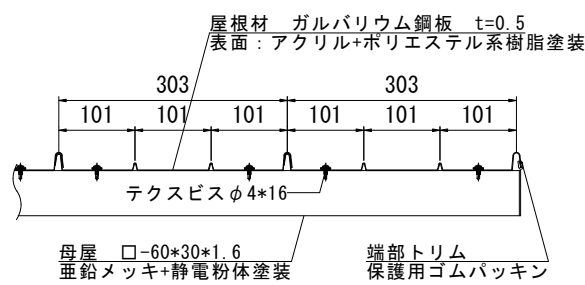
A部詳細図 S=1:10



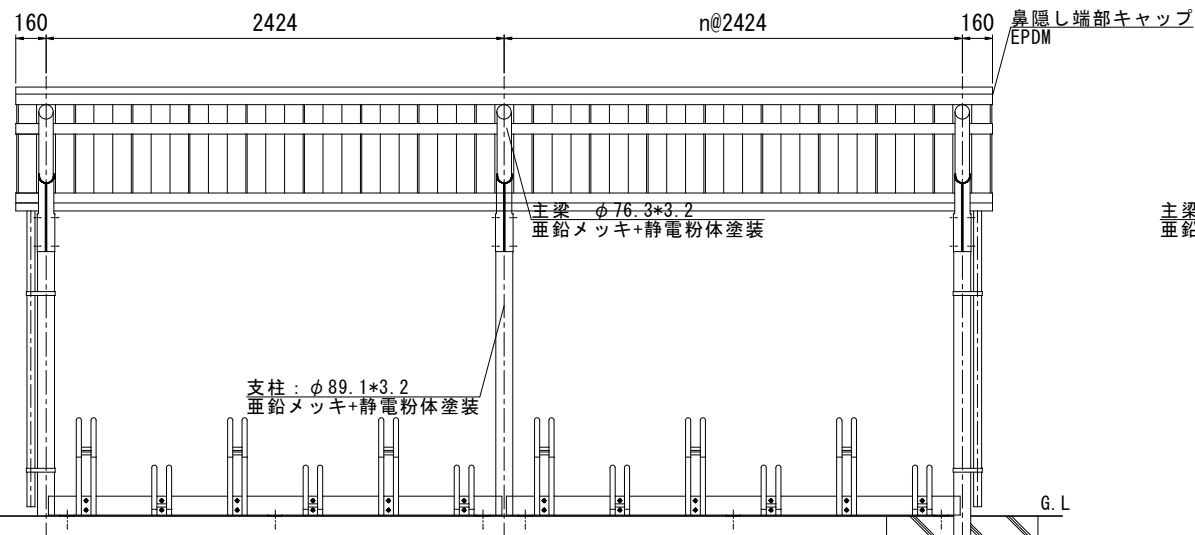
断面詳細図 S=1:20



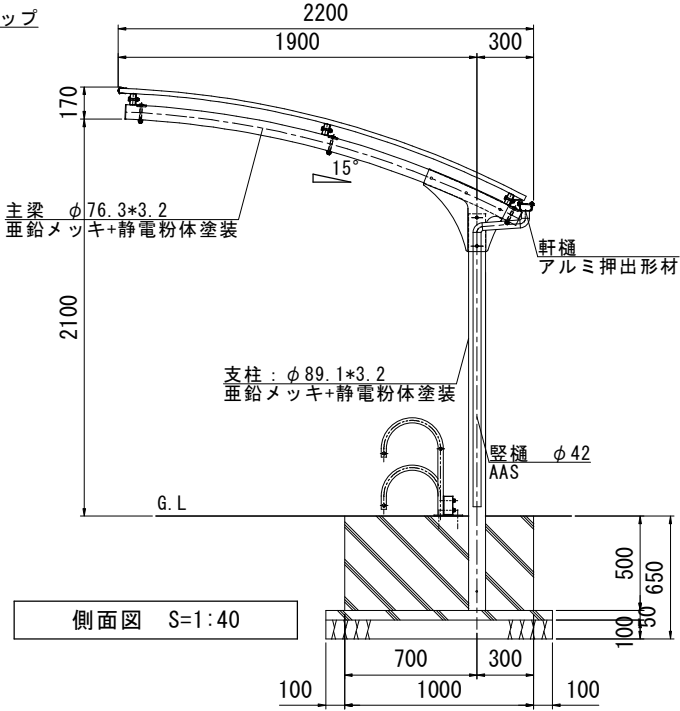
屋根伏図 S=1:40



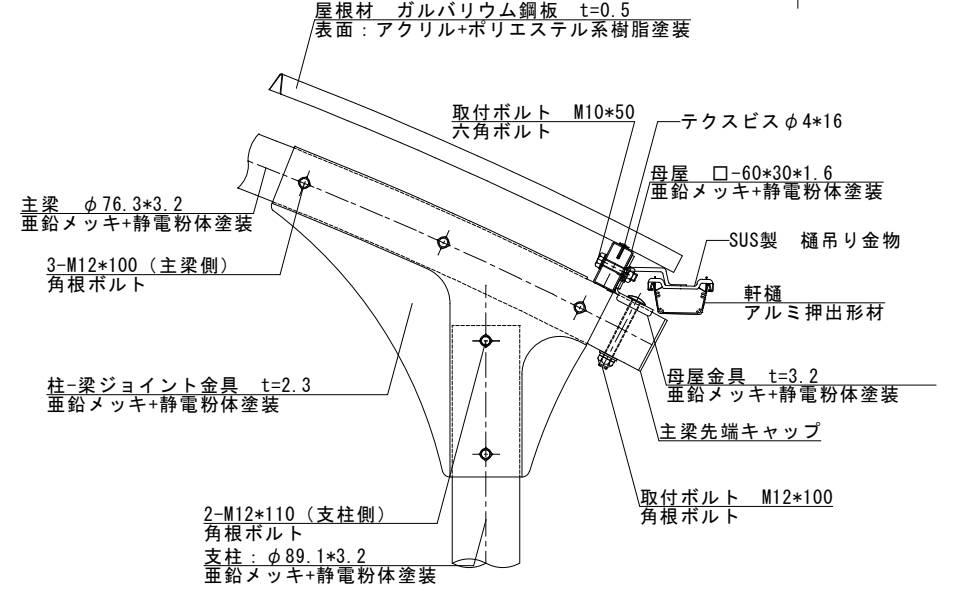
屋根材取付詳細図 S=1:10



正面図 S=1:40

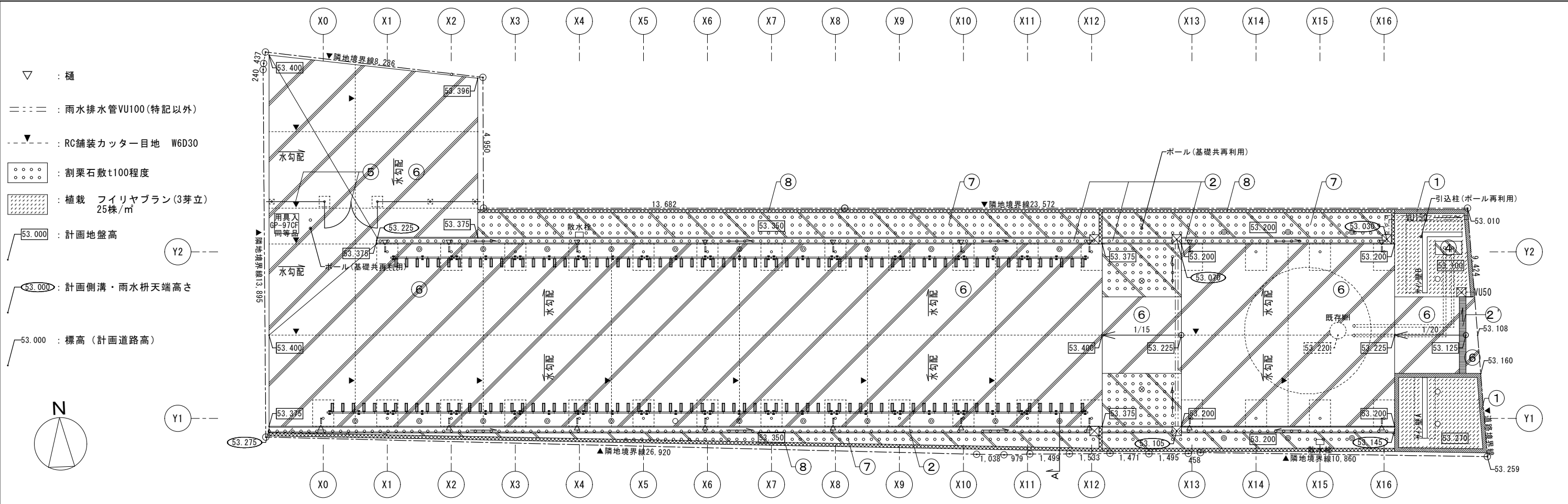


側面図 S=1:40



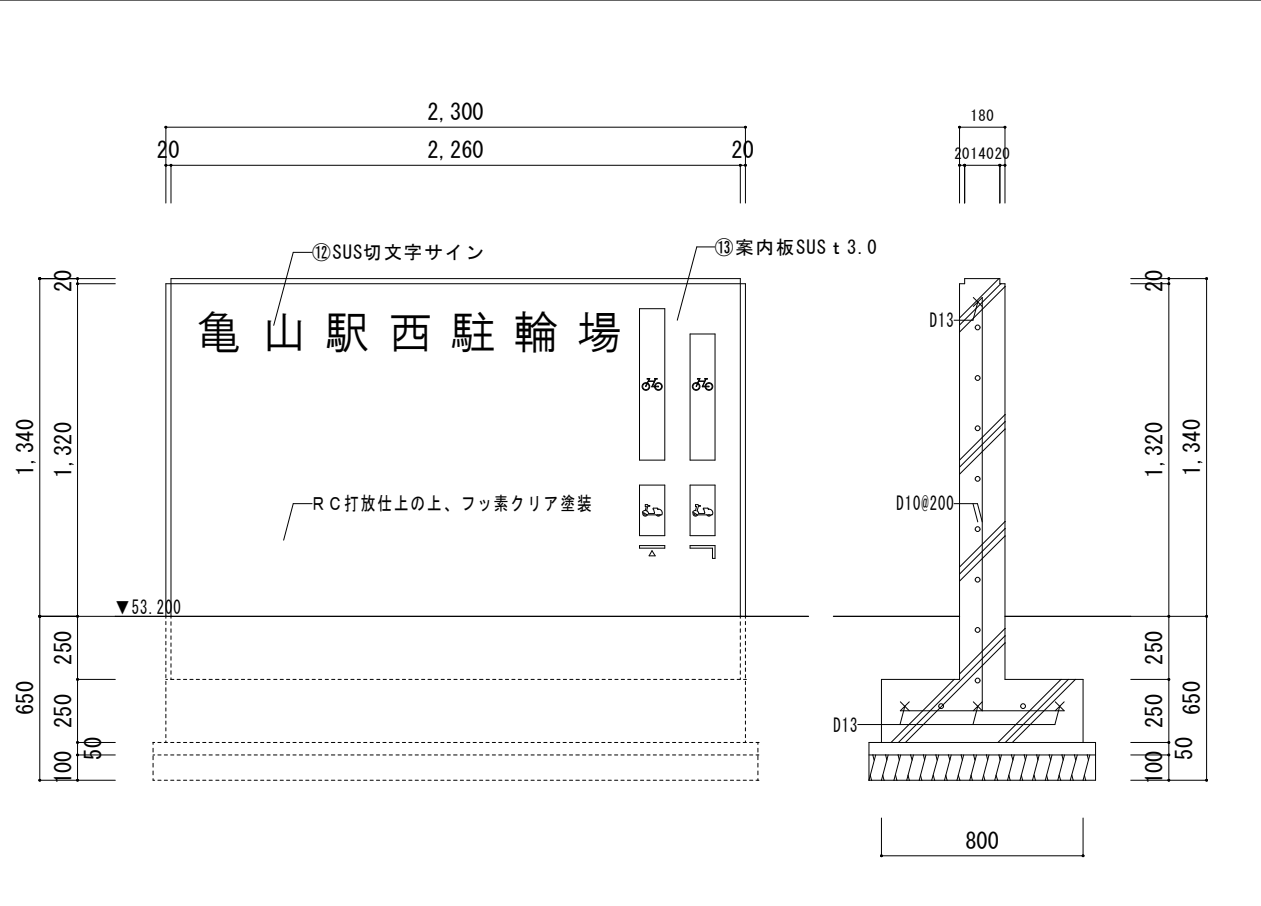
B部詳細図 S=1:10

備考 サイクルポート：積水樹脂 LGR24 同等品 積雪荷重900N/㎡、設計風速34m/s 柱・梁STK490、母屋STKR400、屋根カラー鋼板t0.5 サイクルラック：積水樹脂 ZA6-24 同等品	令和 4 年 4 月 1 日		SCALE：図示	工事名称 亀山駅西自転車駐車場新築工事	図面名称 サイクルポート 標準図
			亀山市建設部		
			都市整備課		
			亀山駅前整備G		

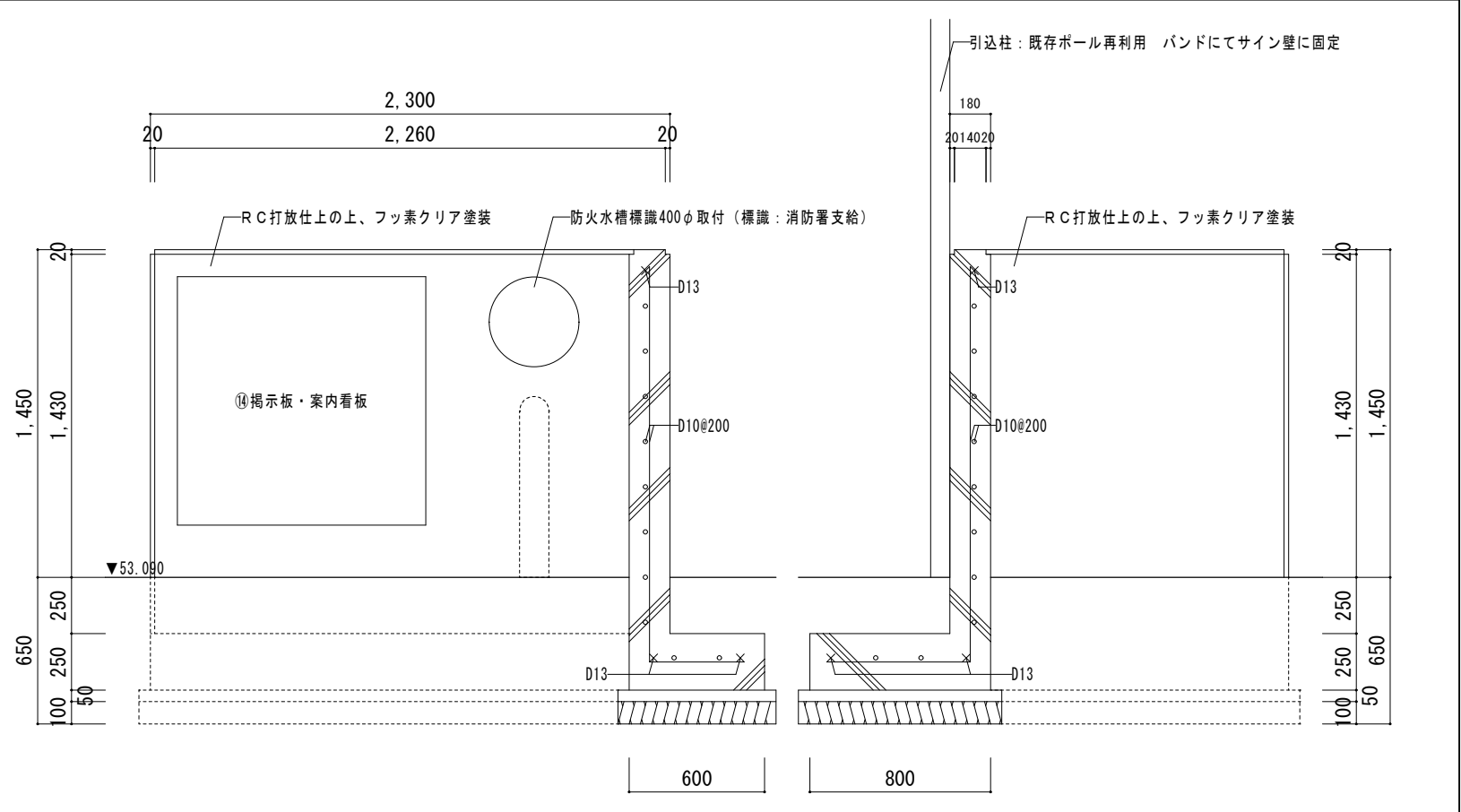


① 植栽樹用ブロック	1/20	② 雨水側溝180 グレーチング T-2	1/20	③ 雨水枡240	1/20	④ 既存防火水槽採水口・通気管用根巻コンクリート	1/20	⑤ メッシュフェンスH1800 (両開き扉W2000)	1/30
⑥ コンクリート舗装	1/20	⑦ 割栗石敷 土間コンクリート	1/20	⑧ 立上りコンクリート	1/20	【参考】A部 外構断面構成図			1/20

⑨ サイン壁 A 断面詳細図



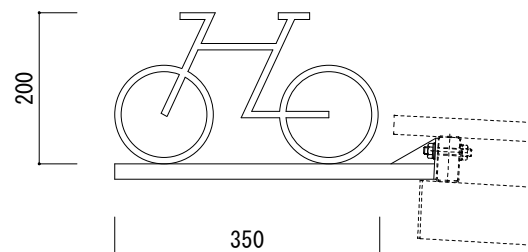
⑩サイン壁B 断面詳細図



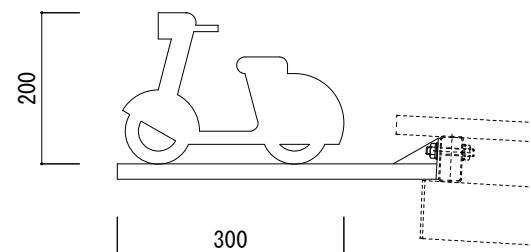
⑪ 突出しピクトサイン 1/10

本体 : SUS t5.0 HL

駐輪場屋根母屋に穴あけ加工の上、ボルト止め



1ヶ所

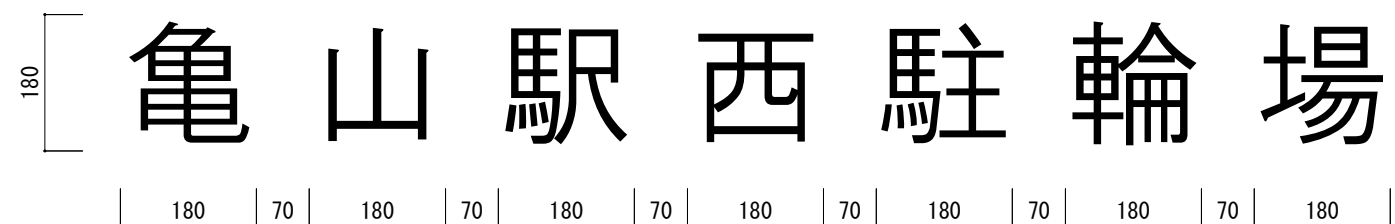


1ヶ所

⑫施設名称サイン 1ヶ所	1/10
--------------	------

SUS切り文字サイン

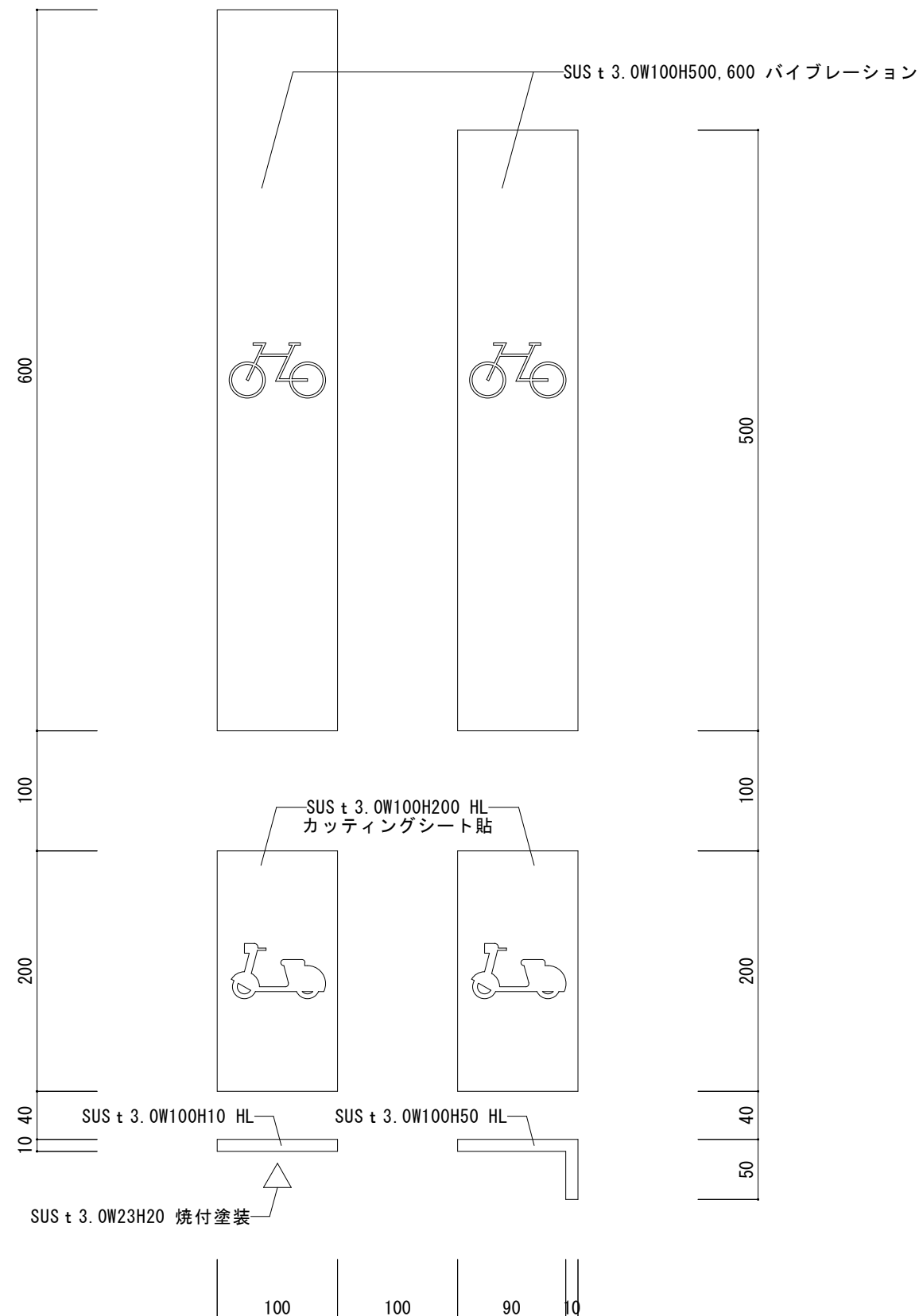
本体 : SUS t5.0 HL



備考	令和 4 年 4 月 1 日			SCALE : 図 示	工事名称	図面名称	09
※道路に面する構造物の設置にあたっては、計画道路施工者に計画道路高さの確認を行い施工する事				亀 山 市 建 設 部	亀 山 駅 西 自 転 車 駐 車 場 新 築 工 事	外構詳細図（2）	
				都 市 整 備 課			
				亀 山 駅 前 整 備 G			

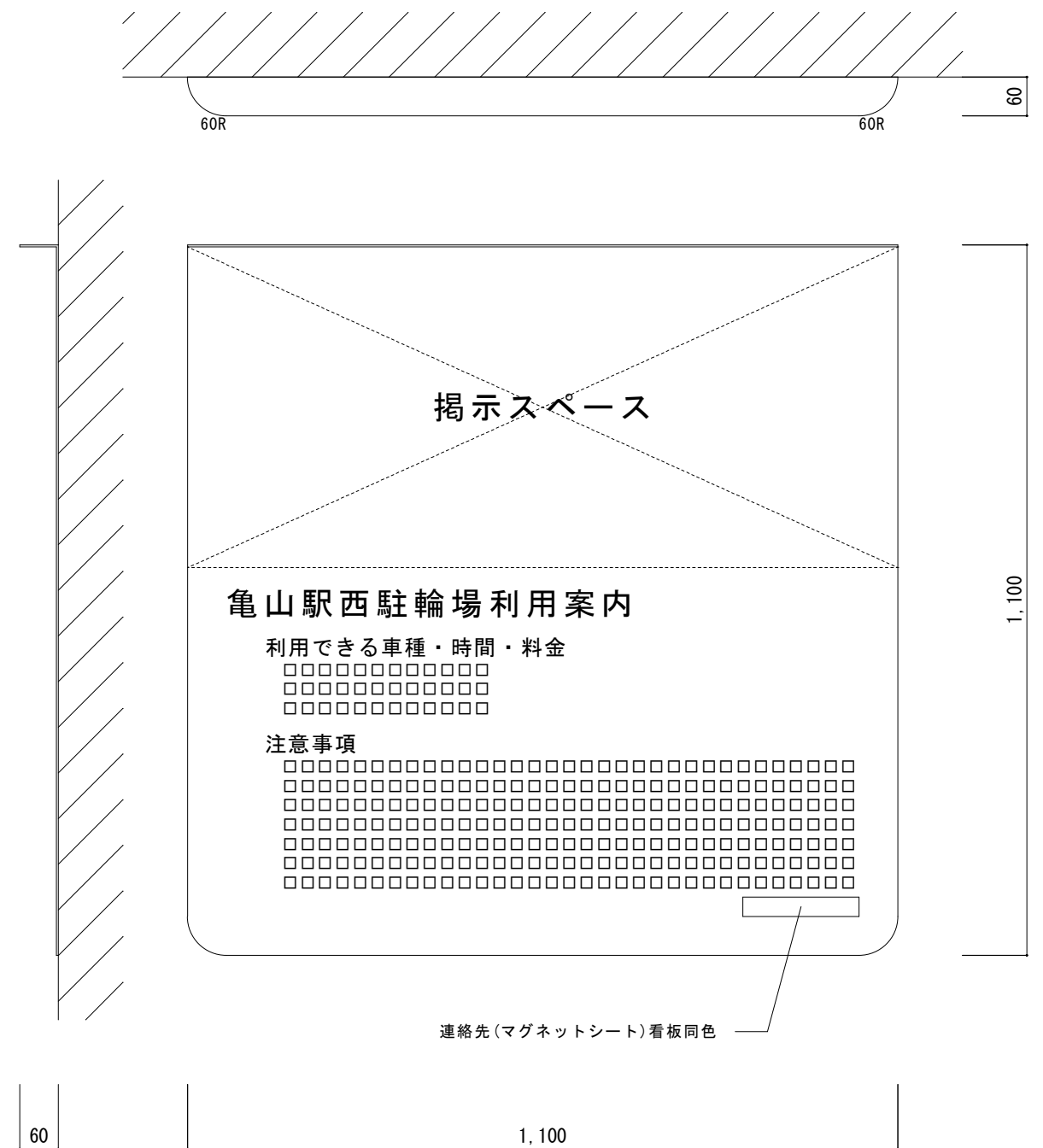
本体 : SUS t3.0

ピクト：カッティングシート切り文字貼

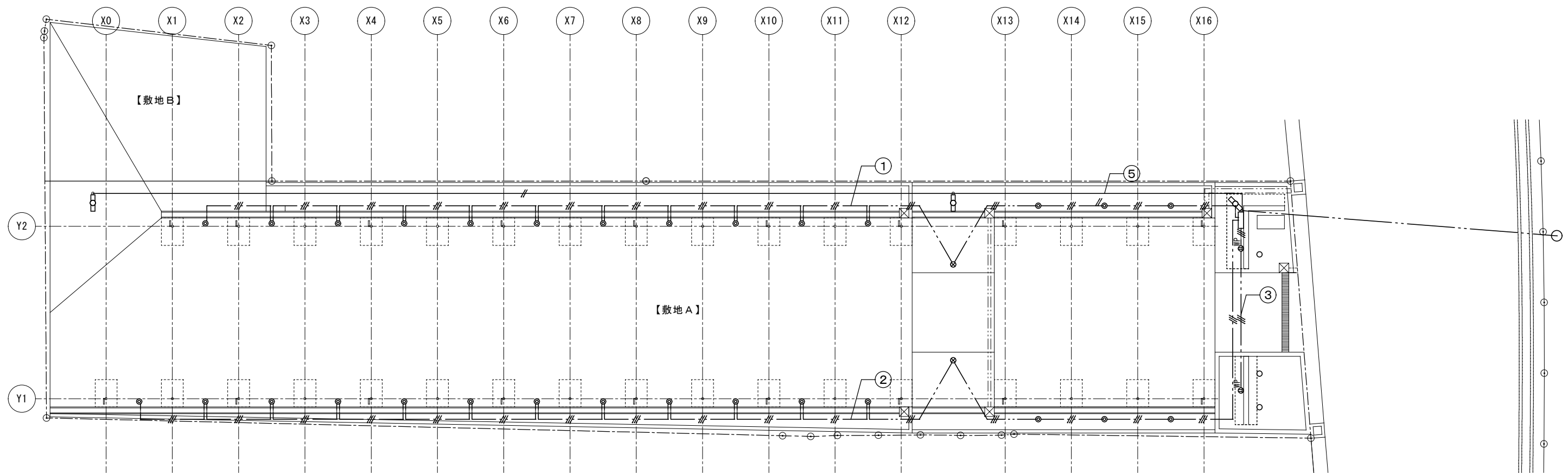


本体：SUS t3.0 焼付塗装

文字：カッティングシート切り文字貼

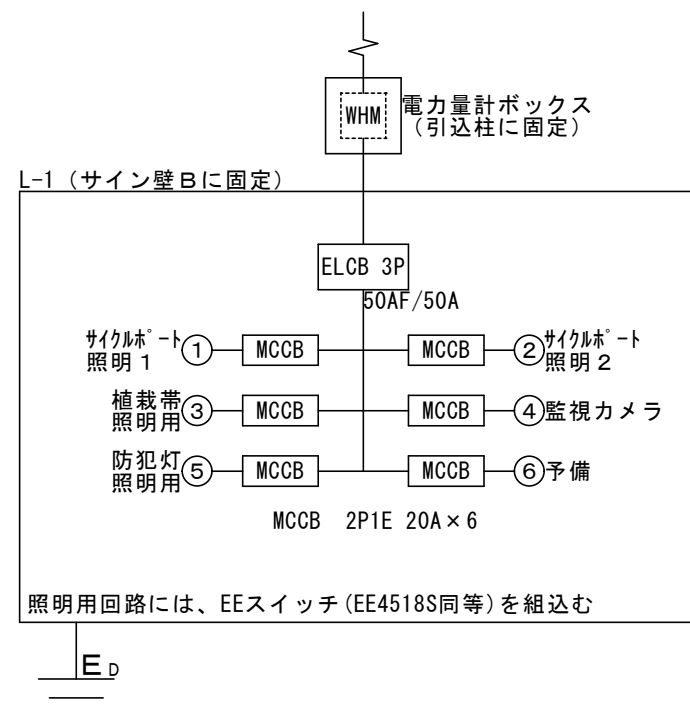


備考	令和 4 年 4 月 1 日			SCALE：図示	工事名称 亀山駅西自転車駐車場新築工事	図面名称	10
				亀山市建設部			
				都市整備課			
				亀山駅前整備G			



- //— : 埋設配管GL-600 PF22、VVF-1.6-3C
- #— : 埋設配管GL-600 PF22 VVF-2.0-2C
- ⊙ : LED照明 (ホーライトA XLGE500SHU同等品 消費電力4.3W)
- ⊗ : LED照明 (ホーライトB XLGE500SLU同等品 消費電力4.3W)
- : LED照明 (スポットライト LGW45021SF同等品 消費電力4.7W)
- : LED防犯灯 (NNY20328 消費電力6.3W) 再利用
- ⊕WP : 防水コンセント (カバー・簡易鍵付、コンクリートボックス共) RC壁打込

配線については内線規程に基づき施工すること。

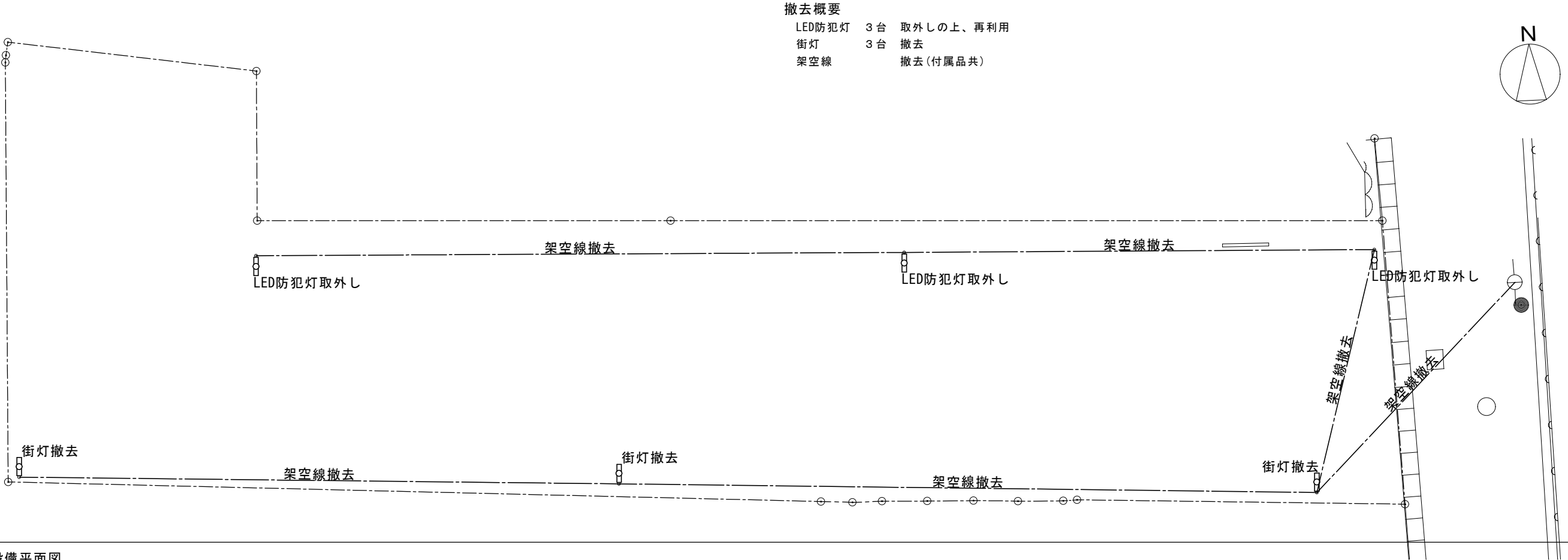


備考	令和 4 年 4 月 1 日		SCALE : 図示	工事名称 亀山駅西自転車駐車場新築工事	図面名称 【新設】電灯設備平面図
			亀山市建設部		
			都市整備課		
			亀山駅前整備G		

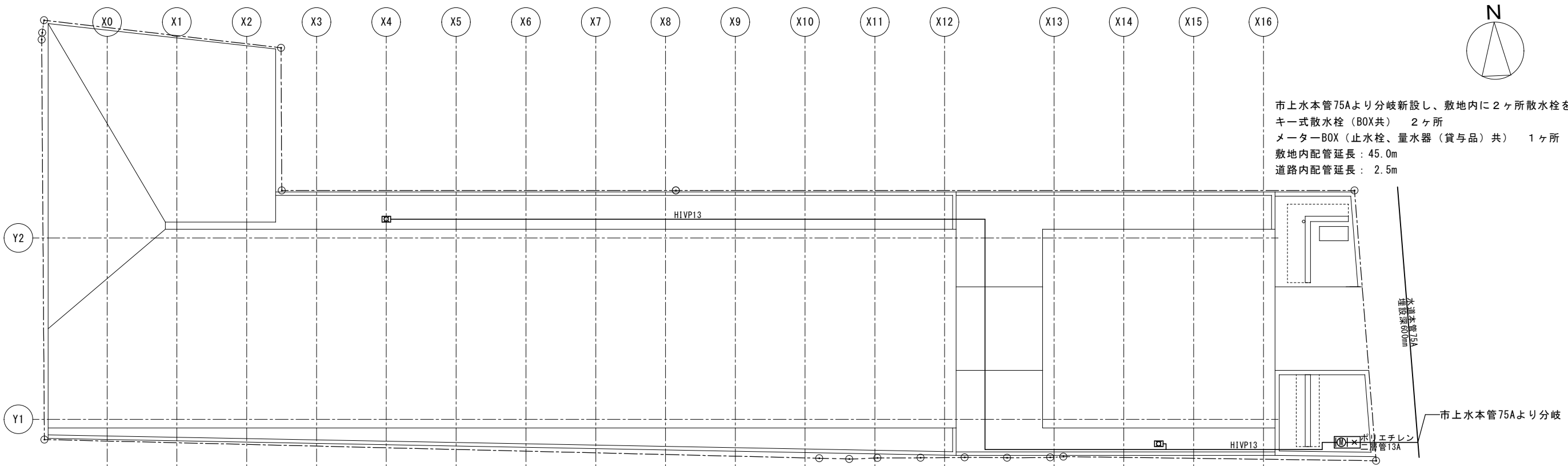
【新設】 防犯カメラ平面図											
新設 防犯カメラシステム 仕様			新設 監視カメラ盤			【撤去】 防犯カメラ平面図					
・概要 ネットワークSDカードレコーダーと防犯カメラをネットワークにて接続する。 配線は、盤よりサイクルポート柱まで土間コンクリート上コロガシにて配線し、サイクルポート柱に硬質ビニル電線管にて立ち上げ、梁材に取り付けたカメラと接続する。 ・ネットワークSDカードレコーダー（WJ-SD202K同等品） 2台 電源：AC100V 記録媒体：SDカード スロット数2 ネットワークポート： カメラポート1：PoE+、カメラポート2：PoE、P Cポート：RJ45 メンテナンスポート：USB2.0 GPSアンテナ付 ・ネットワークカメラ 4台 PoE給電 1/2.8型 2M CMOS 屋外ハウジング型バレットタイプ IPD-BL210同等品 凡例 —— (a)(b)(c)(d)：土間コンクリート上転がし PF22、UTPケーブル CAT6 4P（一部埋設有） ：ネットワークカメラ			1L-1へ (4) 監視カメラ盤（サイン壁Bに固定） 2コネクタ(E) 2コネクタ(E) 監視カメラレコーダー×2 Panasonic WJ-SD202K (a)(b) (c)(d) 監視カメラボックス 屋外仕様・ガラリ付 POGB5050-16同等品 420 420 監視カメラ盤参考配置図			・概要 現在の防犯カメラシステムについては、機器・ケーブル共取り外しの上発注者に引き渡しを行う事。 【既存防犯カメラ機器】 ・防犯カメラ 3台 ・レコーダー 1台 ・モニター 1台					
備考			令和 4 年 4 月 1 日			SCALE：1/150		工事名称		図面名称	
						亀山市建設部		亀山駅西自転車駐車場新築工事		【新設】 防犯カメラ平面図	
						都市整備課				【撤去】 防犯カメラ平面図	
						亀山駅前整備G					

12

【撤去】電灯設備平面図



【新設】給水設備平面図



備考	令和 4 年 4 月 1 日			SCALE：1/ 150	工事名称 亀山駅西自転車駐車場新築工事	図面名称 【撤去】電灯設備平面図 【新設】給水設備平面図	13